

第7号 2026年10月19日週発行

大田区 品川区 渋谷区 世田谷区 港区 目黒区のみなさまへ

東京3ブロックニュース

問い合わせ先: コープみらい東京都本部 参加とネットワーク推進部 03-3382-5665 受付時間/9時～17時(土日・祝休)

誰でも参加できる 地域の集いの場 参加費無料 物品販売 勧誘なし みらいひろば 11月 「みらい」ひろばは、新しい発見や学び、地域の方との出逢いの場として親しまれています。皆さまのご参加をお待ちしています。 ●参加は月に1人1回まで ●申し込みは不要です ●開始時刻までに直接会場にお越しください なお会場の定員を超えた場合は、先着順となります。  Instagramでも情報発信中		
港区 芝浦 11/16(月) 10:30～11:45 港区立男女平等参画センター(リーブラ) 2階 料理室 芝浦1-16-1みなとパーク芝浦内 インド刺繍リボンのキーホルダー (予定)  定員 20名	品川区 きゅりあん 11/4 (水) 10:30～11:45 大井町きゅりあん 4階 調理講習室 東大井5-18-1 帯状疱疹について学ぼう (予定)  講師:城南保健生活協同組合 定員 25名	目黒区 自由が丘 11/5(木) 10:30～11:45 目黒区緑が丘文化会館 3階 303(調理室) 緑が丘2-14-23 おためし!ミールキット &おかえりごはん(予定) ●持ち物 エプロン  定員15名
世田谷区 三茶 11/4(水) 10:30～11:45 太子堂区民センター 2階 第4会議室 太子堂1-14-20 お好きな香りで 手作りサシェ♪ (予定)  定員 20名	世田谷区 祖師谷 11/6 (金) 10:30～11:45 祖師谷地区会館 1階 第2会議室 祖師谷3-30-30 サンキャッチャー (予定) ●持ち物 はさみ  定員15名	大田区 蒲田 11/20(金) 10:30～11:45 大田区立消費者生活センター 2階 第5集会室 蒲田5-13-26-101 フェイクレザーで 作る小物入れ (予定) ●持ち物 定規 はさみ  定員 25名
渋谷区 代々木の杜 11/4(水) 10:30～11:45 地域交流センター代々木の杜 1階 交流室B 代々木2-35-1 折り紙で作るバラの立体 フレーム(予定) ●持ち物 はさみ  ※ 小田急線「南新宿駅」徒歩5分 /JR・都営地下鉄大江戸線「代々木駅」徒歩7分 定員 15名	くみらいひろばに参加される方へのお願い ●活動の様子や風景を撮影し、その写真や動画を広報のためにSNS等に掲載させていただく場合があります。●みらいひろばはお近くの会場にご参加ください。●お預かりした個人情報は、ご連絡が必要な場合に使用します。●当日はゴミ袋、筆記用具、必要な方は飲み物をお持ちください。●みらいひろばはお子さん同伴可です。●喉の痛み、倦怠感などの症状がある場合や、体調に不安がある場合は、ご参加をお控えいただきますようお願いいたします。●内容は変更になる場合があります。●試食の際は手洗いにご協力お願いします。●参加者の安全のため、開催日の午前6時の時点で大雨に関する警戒レベル4以上が地域に発令されている場合(予測も含む)は、開催を中止とさせていただきます場合があります。●企画は今後、不測の事態によって、開催を見送る可能性があります。詳しくは上記記載の参加とネットワーク推進部にお問い合わせください。●このニュースは当日まで保管ください。	

★画像・イラストはイメージです。

平和に関する取り組み

子ども平和新聞プロジェクト参加報告



コープみらいが主催した「子ども平和新聞プロジェクト」に、ブロック委員が小学校3年生の子どもと参加しました。8月4日と7日の全2回のプログラムで、東京新聞編集委員と都立第五福竜丸展示館学芸員のお二人を講師に迎え、取材から新聞の作成まで一貫して行いました。

1日目、まずは東京新聞編集委員の方から学ぶジャーナリズム学習会として、わかりやすく正確に伝えるための紙面の工夫や構成について話を伺いました。また、戦時中の情報統制により日本優位という記事を出し続け、結果的に新聞が戦争に加担してしまったことを重く受け止め、二度とこのようなことがないように心に刻んで新聞を作っているという話もあり、子どもだけでなく保護者にとっても大変興味深い学習会でした。その後、第五福竜丸展示館に行き取材を行いました。世界的な反核運動や原水爆禁止運動が広がるきっかけとなった第五福竜丸事件について、学芸員の方からお話を聞いてワークショップを行い、第五福竜丸の実物や死の灰など、本物を間近で見ることができました。

2日目は中日新聞東京本社にて、1日目の取材から子どもたちが各々まとめた文章を紙面に落とし込み、号外として印刷してもらいました。大きさや形、レイアウトで、短い言葉でも効果的に伝わる見出しの重要性などを教わり、子どもたち自身で構成を考えた紙面は、とてもインパクトのある仕上がりでした。その紙面はぜひ、本ページ下部の二次元コードよりコープデリグループのサステナビリティサイトにてご覧ください。年齢も地域も様々な子どもたちですがこの二日間で交流を深め、待ち時間にはホワイトボードに日本地図を書いて領土問題について討論するなど、保護者も驚くような場面が見られました。

さて、新聞を作って終わりではありません。夏休みの自由研究として学校に提出しました。ちょうど学校公開(授業参観)もあり、たくさんの人の目に触れることになりました。コープみらいが大切にしている次世代への継承、そして知り・学び・伝えることができた夏でした。この子にこういったプロジェクトはまだ早いのでは?とも思いましたが、子どもはおとなが思う以上のことを感じ、理解できることを実感しました。コープみらいでは今後も平和の取り組みを進めていきます。皆さんもまずは参加してみることから始めてみませんか?



コープデリグループの
サステナビリティサイト



◀写真右下にあるのが死の灰が入った小瓶。水爆実験によって海域の珊瑚が砕けて一緒に降ったため、白色をしている。

◀第五福竜丸展示館に船体が丸ごと保存されている。まさに百聞は一見にしかず。



▶第五福竜丸以外にもたくさんの船が被害を受けたことがわかる分布図。展示物には英語が併記され、外国人の見学者も多い。